

グループホーム山径

外部評価結果概要

| 訪問調査日 | 平成16年7月8日 |
|---|---|
| 調査実施の時間 | 午前10時30分～午後3時30分 |
| 全体を通して(※このホームの優れている点、独自に工夫している点など) | |
| 家庭的な環境のもとで、一人ひとりの入居者を尊重し生活を支援する基本方針に沿って、和やかな会話がある穏やかな生活を支える配慮が見られた。居室にはたんす、食器棚、仏壇、小テーブル、又は小机、テレビ、冷蔵庫、飾り物など多彩な使い慣れた家具類が置かれ家庭的雰囲気づくりがされている。入浴は随時できる、入居者の希望による外出など個別の希望に沿って支援がされている。また、重点目標としてご家族との絆を大切にするため、面会時に入居者と一緒にグループホームの食事(有料)をすることができるよう配慮もある。毎月、金銭出納について領収書のコピーを添付して報告するとともに、「たより」を添えて入居者の様子をご家族に知らせるなど、独自の取り組みに工夫が見られる。 | |
| 分野 | 特記事項(※優先順位の高い要改善点について) |
| I | 法人全体としては広報紙配布するなど啓発をしているが、グループホーム独自の取り組みはほとんど行われていない。さらに、グループホームの意義や役割を広報していくための、独自の取り組みも発展的に進めてほしい。 |
| 運営理念 | |
| II | デイサービスとの併設であるため、殺風景で硬い印象があり、家庭的で気軽に訪問できる雰囲気には至っていない。住み慣れた自宅に代わる居宅サービスなので、あきらめずにさらに工夫を重ねてほしい。リビングはとてもゆったりと明るいスペースで配置されていたが、1つのスペースなので、疲労やストレスを避けるためにも、居場所の確保に工夫が求められる。 |
| 生活空間づくり | |
| III | 介護老人福祉施設やデイサービスセンターが併設されており、勤務交替でグループホームに勤務する職員もおり、どんな場面でも入居者を一人の個人として尊重した言動をとっているか、対応の仕方についてよく話し合い、改善していくことが求められる。 時々食事や家事作業をするときに、時間が気になって職員がやってしまうこともある。業務をこなすことを優先するのではなく、入居者のペースの尊重を重視できるよう、職員間で話し合い、工夫してほしい。 |
| ケアサービス | |

| | |
|------|--|
| IV | <p>危険物の保管場所、保管方法について再検討が求められる。今まで事故が起きていなくても、誤飲などの事故に繋がる恐れがあるので、注意が必要な物品の管理については、取り決めとその徹底を図っていくことが求められる。</p> <p>グループホーム側から市町村と積極的な関わりはもっていない。市町村との生の情報が共有していけるよう連携が図られていくことを期待したい。</p> <p>ご本人の生活拡充のためにも商店やレストラン、警察、消防署等地域資源への理解・協力を得られるよう働きかけを積極的に行うようにすることが望まれる。</p> |
| 運営体制 | |

| 分野・領域 | 項目数 | 「できている」項目数 |
|---------------------|------|------------|
| | | 外部評価 |
| I 運営理念 | | |
| ① 運営理念 | 4項目 | 3 |
| II 生活空間づくり | | |
| ② 家庭的な生活環境づくり | 4項目 | 2 |
| ③ 心身の状態に合わせた生活空間づくり | 6項目 | 5 |
| III ケアサービス | | |
| ④ ケアマネジメント | 7項目 | 7 |
| ⑤ 介護の基本の実行 | 8項目 | 4 |
| ⑥ 日常生活行為の支援 | 10項目 | 10 |
| ⑦ 生活支援 | 2項目 | 2 |
| ⑧ 医療・健康支援 | 9項目 | 9 |
| ⑨ 地域生活 | 1項目 | 1 |
| ⑩ ご家族との交流支援 | 1項目 | 1 |
| IV 運営体制 | | |
| ⑪ 内部の運営体制 | 10項目 | 9 |
| ⑫ 情報・相談・苦情 | 2項目 | 2 |
| ⑬ ホームとご家族との交流 | 3項目 | 3 |
| ⑭ ホームと地域との交流 | 4項目 | 2 |